ギルド名
シルバーレギオン

ギルドマスター
フィオル・ギリアム

レベル	1	成長点	4	次レベル	4/10

ギルドメンバー	CL	種族	メイン	サポート	参考
ﾙｸｼｱ・ﾛｰﾚﾝﾂ・ｼｭﾊﾞﾘｰﾃ	1	ヒューリン	ウォーリア	サムライ	
アーニャ＝ブランジーノ	1	エルダナーン	メイジ	セージ	
フィオル・ギリアム	1	フィルボル	アコライト	ウォーリア	
ミハエル・デイヴィス	1	ヒューリン	シーフ	バイキング	

スキル名	Lv	タイミング	効果
蘇生	-	任意	ギルドメンバー全員のHPを全快する。1シナリオ1回使用可。
祝福	-	任意	ギルドメンバー全員のMPを全快する。1シナリオ1回使用可。

所持品

軍資金：

～冒険者ギルド[シルバーレギオン]の記録～

▼セッション1、キャンペーン「月輪の裁断者」第一章：指導するツァイガー

パリス同盟加盟国の一つ、塔の街ラニューリ。
そんなラニューリの属国にあたるエウロパの森を一人歩く騎士がいた。
ブロンドの髪と赤い瞳を持ち、中性的な顔立ちから、一見して男性か女性か判別がつかない。しかしその恰好は男性のそれであった。
彼の名はクラウス・ローレンツ・シュバリーテ。
王国で反逆者の抹殺や、諜報活動などを任されていた闇の一族、貴族シュヴァリーテ家。その30代目当主である。
事故で両親と妹を亡くし、若くして家督を継いだため、27歳にして当主歴は10年にもなる。
見るからに騎士という服装には、不釣り合いに見えるペンダントが、胸元に光っている。
噂によればこれは家族の形見らしい。彼はこのペンダントを肌身離さず着用していた。
ラニューリとローデシア王国は5年前より軍事的緊張状態にあり、特にここ2年の間に状況は悪化、いつ戦争になってもおかしくないと言われている。
彼がここへやってきたのは他でもない、ローデシア王国の斥候としてラニューリの情勢調査に来たのである。
クラウスの行く先には小さな村が見え始めた。出発前に見た資料から、クラウスはその村がエウロパの北東にあるノウス村だと理解した。
クラウスは気持ちを引き締め、村へ歩みを進めるのだった。

一方その村では、赤い髪と茶色の瞳を持つ、85cmとかなり小柄な可愛らしいフィルボルであるフィオル・ギリアムが、粗暴そうな見た目の男に絡まれているシルバーブロンドの髪とエメラルドの瞳を持つエルダナーンの女性、アーニャ＝ブランジーノを発見したところであった。
事情を聞くと、アーニャはこの男に軽くぶつかってしまったのだが、男は「怪我をしたから治療費を寄越せ」と言い寄ってきたらしい。
フィオルが仲裁し、逆上した男の拳をスルリとかわしてそのまま倒れ込んだ男を踏みつけたフィオルは「今の内に逃げるぞ！」とアーニャを連れて逃げ出した。
その後自己紹介をし合った二人は互いに冒険者登録をするため一番近くの神殿がある街、ラニューリを目指していたことを知る。